第3分科会
テーマ：人材育成・普及啓発等における工夫事例

No.	発表題名	地方ブロック	水系名 河川名	直轄／補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要
					河川の流域面積	河川分類	整備計画流量	セグメント		機関	部・事務所	
1	多自然川づくりの視点からの植生管理の考え方	中部	－	－	－	－	－	－	藤井　美有	中部地方整備局	中部技術術事務所	中部地方整備局管内における多自然川づくりを推進するために、現場で実践可能な維持管理方法として、「中部地方整備局版多自然川づくり手引き」を提案した。その中の一部である植生管理方法の検討事例を紹介する。
2	こだわりの技！ 芥川における石の魚道の整備	近畿	淀川水系 芥川	補助(1級)	50	中小河川	500m3/s（W=1/100）	2	竹島　雄介	大阪府	茨木土木事務所	・地域の方々や専門家と一緒に、石の魚道に関する設計基準を独自に定めた。 ・地域の方々と協働で魚道の施工、手直し、遡上調査、維持補修を実施した。 ・設置した魚道において、この地域に生息しているあらゆる魚種がのぼった。
3	円山川水系「人と河川との関わりの保全・再生・創出」～地域との連携～	近畿	円山川水系 円山川・出石川	直轄(1級)	1300	大河川	4,600m3/s（W=1/40）	2-1	小林　伸英	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	・円山川水系自然再生計画では、「人と河川との関わりの保全・再生・創出」を河川における自然再生の目標のひとつとしており、その取り組み事例を発表する。
4	山口発の「水辺の小わざ」～将来に目を向けた取組み～	中国	粟野川水系 粟野川	補助(2級)	185.9	中小河川	－	2-1	小田村　匠	山口県	土木建築部河川課	・過去より山口発の技術として展開している「水辺の小わざ」について、将来に目を向けた取組み（技術の伝承、人材育成）を紹介する。
5	鳥取県における河川環境の連続性・魚類等の遡上阻害改善に向けた取組について	中国	－	補助(その他)	－	中小河川	－		加川　昌弘	鳥取県	河川課	・河川環境の連続性、魚類等の遡上阻害改善のため、平成29年度に水辺のネットワーク再生事業（県単独事業）を創設し、小規模でもその水辺にふさわしい簡易魚道を設置するなどして河川環境の連続性を確保し、水辺のネットワークを再生する取組みを進めている。 ・また、関係機関が連携を図り、河川環境や生物・生態系保全等に関して情報を共有し、水辺の環境保全の推進及び実施について協議するための協議会を設立し、関係者の意識啓発等に努めている。
6	「伝統的な河川工法」を活用した施工事例について	九州	川内川水系 麦之浦川	補助(1級)	12	中小河川	180m3/s（W=1/30）	2-1	坂本　翔平	鹿児島県	北薩地域振興局	・「伝統的な河川工法」の技術の継承を目標とし，河川護岸の基礎部に梯子胴木，松杭基礎を施工した。